

# ロボット

未来  
の発明

1

ペッパー  
Pepper



©SoftBank Robotics

アイボ  
aibo



エーアイ  
AI



お寿司屋さんや携帯電話ショップ、ホテルなどさまざまな場所で活躍する「Pepper」や、ペットロボット「aibo」など、ロボットは日々の生活に身近な存在となりました。

Pepperは人間の感情を理解し、自らも感情をもったロボットです。自分の目の前にいる人が明るい気分であるのか、暗い気分であるのかを判断することができます。また、自らの感情をからだの動きで表現することも特徴のひとつです。Pepperは、音声から感情を読み取りといった自然なコミュニケーションにつながる特許を取得しています。この感情認識や自律的な感情を持って動く、というところにおいて、ソフトバンクグループ全体で100件以上の特許を出願済みです。

aiboは今年になって新生aiboとして発表されたの

で皆さんの記憶にも新しいロボットではないでしょうか。aiboには人と上手く付き合うため安全面に考慮し、aiboが持ち上げられた状態であることを認識すると脚の動作を停止する、といった特許を取得しています。さらに育てる人によってどのように成長するかはわからない、まさに生き物のようなロボットです。

これらの感情理解や自ら考えて動くロボットにはAI（人工知能）という機能が搭載されています。AIは近年急速に進歩してきており、AIに関する発明について多くの特許も出願されています。AIの進歩によって、ロボットが新しい役割を担うことが期待されています。

